

講習科目名	【選択必修】教科における探究型単元のデザインと情報活用能力の育成	実施期日	8月17日
時間数	6	講習形態	講義・演習
主な受講対象者	小・中・高教員	受入人数	30人
担当教員	稲垣 忠（文学部教授）		
講習の到達目標 (成績評価の観点)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等のねらいを達成しつつ児童生徒の情報活用能力を育成するために、探究活動を中心とした単元を設計することができる ・児童生徒の探究活動に関する学習評価を行うための評価規準・基準を作成することができる 		
講習の概要	教科書単元をベースにした探究（プロジェクト型）学習を開発する演習を行う。児童生徒が主体的に情報を収集し、整理・分析し、発信する際のスキルが情報活用能力である。新学習指導要領では学習の基盤となる資質・能力の1つとして、その育成が求められている。演習では、情報活用のスキルを可視化した「学習活動カード」による単元設計を行う。その際、児童・生徒の学習成果物に対する評価（ルーブリック評価）についても取り上げる。		
講習計画	<p>1時限目：情報活用能力の育成と主体的・対話的で深い学び（講義） 主体的・対話的で深い学びの視点から授業を改善する上で、児童生徒に情報活用能力を育成する意義について理解する。</p> <p>2時限目：プロジェクト学習の目標設定（講義・演習） 探究活動を教科・単元において実施する上で学習目標および活動のゴール設定の仕方について演習に取り組む。</p> <p>3時限目：プロジェクト学習の教材分析と評価（講義・演習） 児童生徒の学習成果を評価するための方法を学び、ルーブリックの作成に取り組む。</p> <p>4時限目：学習活動の設計（講義・演習） 情報活用の視点を取り入れた学習活動を設計する手法を学び、単元作成に取り組む。</p> <p>5時限目：相互評価と改善方法の検討（演習） 4時限目までに作成した単元案を受講者間で交流し、改善の指針を得る。講師との質疑応答の時間も設ける。</p> <p>6時限目：単元計画の改善・提出（演習・試験） 5時限目までに作成した単元案の改善・詳細化を各自で行い、デザインシートとして提出する。</p>		
評価方法	6時間の講座を通して、プロジェクト学習のデザインシートを作成する。評価はシートの記述内容をもとに、到達目標の2つの観点に照らして行う。		
教材・参考文献	「探究する学びをデザインする！情報活用型プロジェクト学習ガイドブック」（明治図書・参考文献扱いとします）		

受講者に望むこと	ご担当の教科、学年の教科書を持参ください。
備考	単元計画の作成にはノートパソコンを使用します。本学からの貸し出し、持ち込みどちらでも対応可能です。